

ぜんち共済

第12回「千代田ビジネス大賞」受賞

日本初の障がい者専門少額短期保険を評価

日本初の障がい者専門の少額短期保険会社であるぜんち共済が2月20日、第12回「千代田ビジネス大賞」の大賞を受賞したと発表した。

「千代田ビジネス大賞」は、中小企業の成長発展を支援することを目的に、千代田区等を後援となり、公益財団法人まちみらい千代田が主催し、経営革新

や経営基盤の強化に取り組んでいる千代田区内の企業を、「社会・経済への貢献性」「製品・サービスの革新性」「企業経営の戦略性」の3項目により審

査・表彰する。

同社が受賞した評価ポイントは次の通り。

①「全国的障害者共済会」を発足し知的障がい者への福利厚生を提供していたが、2006年4月の保険業法改正により、保険会社への移行が解散を迫らされた。当初、前例

がないことにより金融

庁から許可が下りず、一年間通い詰め障壁を取り除き、苦労を重ね事業を開始した。日本初となる障がい者向けの保険は市場に大きなインパクトを与えた。

②同社が作り上げた障がい者向け少額短期保険は、「病気やケガのリスクが高い」「付

き添いの負担が大き

い」「障がいによって保険加入ができない」という常識を覆し、障がい者とその家族に大きな光明を与えた。

③保険業界に身を置き、保険に入りたくても入れない人たちのさまざまな苦労を目の当たりにし、日本では、障がい者が就労しづら

く住む場所に苦勞し、

普通に暮らすことが難しい中、共に助け、共に生きる共生の世の中、障がい者が普通に暮らせる社会を実現するため、保険を通じて障がい者とその家族の不安を安心に変える手助けを実践している。

今回、以上3点について評価され、同社は

エントリー企業の最高

賞となる大賞を受賞した。同社は引き続き、「社会に必要なとされる真の保険会社」を目指すとともに、誰にとつても幸せな「共生社会」の実現に向け、市民の「安心した生活」を支える一助になることを目指すとしている。

賞となる大賞を受賞した。同社は引き続き、「社会に必要なとされる真の保険会社」を目指すとともに、誰にとつても幸せな「共生社会」の実現に向け、市民の「安心した生活」を支える一助になることを目指すとしている。